

ニュージーランド金融政策（2023年2月）

洪水災害の中でも0.5%ポイントの利上げを決定

2023年2月22日

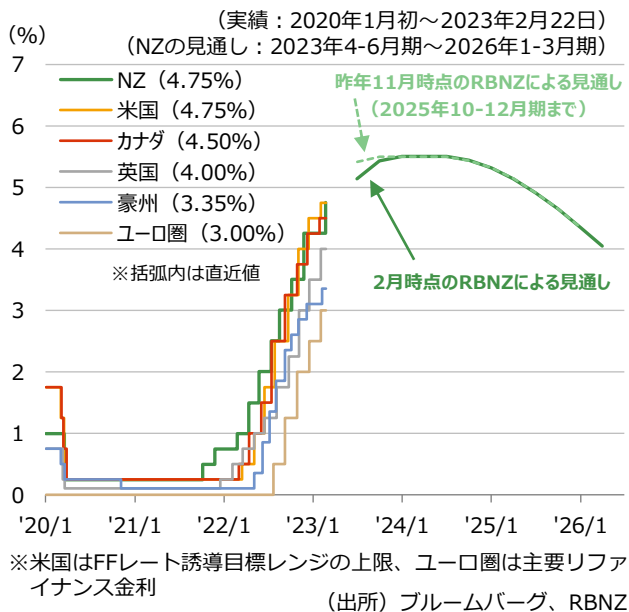
次回以降もインフレ抑制を最優先に利上げが続く公算

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は2月22日（現地）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を4.25%から4.75%に引き上げることを決定しました。インフレ見通しの上振れリスクが幾分和らいだことを理由に、今回の利上げ幅はRBNZが前回会合（昨年11月）の時点で想定していた0.75%ポイントではなく0.5%ポイントになりました。大型サイクロン「ガブリエル」の洪水災害を受けて、より小幅な利上げになるとの見方も浮上していたため、発表直後はNZドル高の反応となりました。

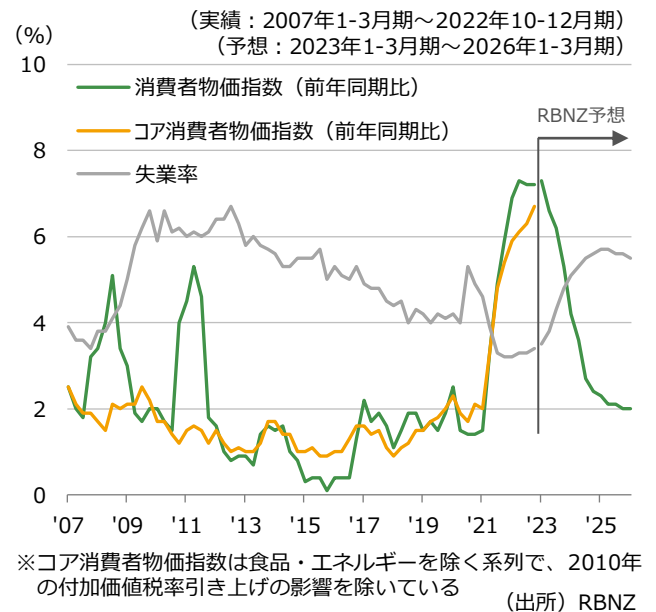
声明文では、災害がサプライチェーンの混乱を通じて短期的に物価上昇圧力につながるほか、復興需要が景気を押し上げる可能性がある」と指摘されています。もっとも、復興支援の財政出動の時期や規模は未定のため、金融政策への影響を正確に評価するのは時期尚早との見解も示されています。そうしたこともあり、経済・物価見通しは前回から大きな変化がなく、利上げ到達点の見通しは5.5%で維持されました。

RBNZは「インフレ圧力が緩和する初期の兆候はあるが、コア消費者物価指数は高すぎで、雇用も持続可能な水準を超えており、短期のインフレ期待も高いまま」との認識を示しており、オア総裁は記者会見で2011年のクライストチャーチ地震の直後に利下げした時とは状況が違」と述べました。目先は災害が経済に与える影響を見極める必要がありますが、政策委員は「金融政策よりも財政政策で対応する方が効果的」との意見で一致しているため、次回以降もインフレ抑制を最優先に利上げが続く可能性が高そうです。

各国・地域の政策金利



NZの消費者物価指数と失業率



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management